

重症外傷患者における、輸血量と呼吸不全発症に関する検討

2019年5月7日から2022年12月31日までに、東北大学をはじめとする複数の施設にて「重症外傷患者に対する制限輸血戦略クラスターランダム化クロスオーバー非劣性試験」という研究に参加された重症外傷のため輸血治療を受けた患者さん

研究協力をお願い

日本医科大学多摩永山病院救命救急科では「重症外傷患者における、輸血量と呼吸不全発症に関する検討」という研究を行います。この研究は、2019年5月7日より2022年12月31日までに東北大学をはじめとする複数の施設にて、「重症外傷患者に対する制限輸血戦略クラスターランダム化クロスオーバー非劣性試験」という重症外傷のために輸血治療を受けられた患者さんの最適な輸血量を調査する研究のデータ（当院はこのデータ収集には参加していません）を解析し、輸血の量と呼吸不全の発症を調査する研究になります。研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。なお、この研究は個人を特定することができないため、ご参加取り消しの要望には応じられません。ご了承ください。

(1) 研究の概要について

研究課題名：重症外傷患者における、輸血量と呼吸不全発症に関する検討

研究予定期間：研究機関の長の実施許可日～2025年8月31日

調査対象期間：2019年5月7日～2022年12月31日

研究責任者：日本医科大学多摩永山病院 救命救急科 田中 知恵

(2) 研究の意義、目的について

大量の輸血を必要とするような重症外傷患者さんにおいて、輸血の量と呼吸不全の合併症の関連を明らかにすることを目的とします。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2019年5月7日より2022年12月31日までに東北大学をはじめとする複数の施設にて実施された、「重症外傷患者に対する制限輸血戦略クラスターランダム化クロスオーバー非劣性試験」という、重症外傷のために輸血治療を受けられた患者さんの最適な輸血量を調査する研究のデータ（当院はこのデータ収集には参加していません）を、仮名加工化された状態で受け取り解析します。輸血料と呼吸不全の発症に関連があるかを調べます。

この研究は、患者さんの以下の情報を用いて行われます。

情報：年齢、性別、血圧値、診断名、手術の有無、輸血量、死亡率、呼吸不全の発症、腎不全の発症、入院日数

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

担当者 救命救急科 田中知恵

日本医科大学多摩永山病院 倫理委員会事務局

〒206-8512 東京都多摩市永山1丁目7-1

電話番号：042-371-2111（代表） 内線：2302

メールアドレス：nagayama-chiken_center@nms.ac.jp